

政策分析シート（平成25年度）

政策名	伝統文化の継承と都市間交流の推進	政策No	09	部名	区民生活部		
関連部名	教育委員会	部長名	高岡	内線	2500		
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]					
目的	区民が優れた芸術文化に触れる機会を拡充するとともに、区民の自主的な文化活動を促進する。また、活力に満ち魅力ある地域社会を実現するため、国内・海外都市との幅広い交流を積極的に推進する。併せて、区内に伝わる有形・無形の文化財を保存し、継承する。						
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	芸術・文化活動の状況	-	-	44.5%	-	50%	自ら芸術文化活動を行っている区民の割合(平成24年度は第37回区政世論調査結果より)
	芸術文化に対する意識	-	-	-	-	80%	荒川区の芸術文化振興に関する取り組みや文化施設に対する満足度
	交流都市に対する区民の認知度	-	-	-	-	50%	荒川区Eモニターアンケート調査を実施する
交流事業の認知度と評価	-	-	-	-	50%	荒川区Eモニターアンケート調査を実施する	
荒川ふるさと文化館利用者数	19,053	23,702	18,709	24,000	26,000	展示室観覧者＋郷土学習室利用者	
現状と課題（指標分析）	<ol style="list-style-type: none"> 区民が優れた芸術文化に身近なところでふれ、親しめるよう、区内の文化施設で文化芸術事業を実施するとともに、活動の場や機会の提供、活動費の補助等を行い、区民の自主的活動を支援している。 荒川区の芸術文化振興については、公益財団法人となった荒川区芸術文化振興財団（ACC）と連携し、芸術文化を区民の中に深める活動を充実する必要がある。 現在、国内26都市、海外4都市との交流があるが、その度合、態様には濃淡がある。各都市の特性を把握し、相互補完的な交流をすることにより、荒川区にはない文化や自然環境を区民に提供し、より豊かな区民生活の実現を目指す。 荒川ふるさと文化館は、荒川区の歴史や文化について、児童・生徒を始め、多くの区民に正しく伝え、郷土に対する誇りと愛着を持ち、荒川区の歴史や文化について理解を深めるため企画展示等の事業について検討する必要がある。 						
今後の方向性	<p>荒川区芸術文化振興プランを踏まえ、関係部署や指定管理者及び芸術文化団体と連携し、芸術文化振興の一層の推進を図る。</p> <p>特にACCについては、公益財団としての信頼性と、民間団体としての機動力を活かし、区内芸術文化団体等の支援推進母体としての役割を強化する。</p> <p>交流都市や交流事業については、地域振興だけでなく産業振興や災害時相互支援など、各交流都市の地域特性を活かし幅広い交流を進め、区内の活性化を図る。</p> <p>交流都市への区民の訪問について、区内の各種団体において国内外の交流都市との継続的交流事業が実施できるよう支援体制を整備し、相互の交流を活性化する。</p> <p>荒川ふるさと文化館について、大規模博物館にはない地域の郷土資料館ならではの特性を活かした企画展を開催し、区の魅力を発信する。</p>						

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	25年度	26年度	
芸術・文化の振興[09-01]	重点的に推進	重点的に推進	芸術文化の力を区の施策に活用することにより、地域の活性化や区の情報発信力の強化を目指すとともに、区民が主体となる取り組みを推進し、より荒川区に根ざした芸術文化振興を図る。
国内・海外都市との交流の推進[09-02]	重点的に推進	重点的に推進	国内外の各交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や区内における交流を充実を図ることにより、相互理解を深め、区内の活性化を図る。
伝統的文化の保存と継承[09-03]	推進	推進	荒川区の歴史や文化を伝える文化財、史跡、伝統的工芸技術を保存・継承していくことは重要であるため、引き続き推進する。